

2022年12月9日

各 位

J X 金属株式会社

## カセロネス銅鉱山の累計生産量 100 万トン達成を記念したセレモニーを実施

J X 金属株式会社（社長：村山誠一、以下「当社」）がチリ共和国で運営するカセロネス銅鉱山は、2022年11月に累計生産量 100 万トン（銅量換算）を達成しました。この節目を祝すとともに、多くの関係者を称えるセレモニーが現地時間 12 月 6 日に開催されました。

当社グループでは 2006 年にカセロネス銅鉱山の権益を取得して以来、同鉱山の開発を推進しており、2013 年には SX-EW 法による電気銅の生産を、2014 年 5 月には銅精鉱の生産を開始しています。標高 4,000m 以上の急峻な地に位置する同鉱山は、これまで多様な課題を乗り越えてまいりました。また今日に至るまで、近隣のコミュニティと協力的でオープンな関係を維持するとともに、雇用の創出を通じて地域経済の活性化に大きな貢献を果たしてまいりました。

当社グループは 2021 年に同鉱山の全権益を取得しており、同鉱山で生産される高品位でクリーンな銅精鉱は J X 金属製錬（株）佐賀関製錬所の有力な原料であり、当社グループのサプライチェーンに欠かせない存在となっています。

セレモニーは、アタカマ州政府や在チリ日本大使館などの関係当局、鉱山業界団体の代表者や地域住民の代表者などを招いて実施されました。鉱山を運営する SCM Minera Lumina Copper Chile の黒岩源洋 CEO からは、これまで鉱山運営を支えた従業員・関係当局・業界団体・学術界・地元コミュニティ・労働組合など関係者への感謝の言葉とともに「この素晴らしいパートナーシップを継続し、地域、国、そして世界の未来に貢献するために前進していきます。この特別なプロジェクトをととても誇りに思っています。」とスピーチがあり、続けて、当社社長の村山からの慰労と感謝の意を込めたメッセージが読み上げられました。これに続き、来賓者を代表し、アタカマ州知事および在チリ日本大使館の小玉参事官からのスピーチがありました。

今後も当社は、「2040 年 J X 金属グループ長期ビジョン」のもと、原料からのサプライチェーンの透明性が裏付けられた先端素材の安定供給を目指し、社会の発展と革新に貢献してまいります。

以 上



100万トン達成を記念するプレートを囲んだ同鉱山幹部と来賓者代表による記念撮影